

学校のようす

平成二十七年 十月〜十二月

依田達南部中学校

二学期も終了いたしました

八月十八日に二学期始業式を行ってから早四ヶ月。

この二学期は、創立60周年記念式典と紫苑祭が行われましたが、文化祭に先立って行われた式典は、実行委員のPTA二役の方々にもお支えいただき、無事に執り行うことができました。また、紫苑祭も三年生を中心として生徒が主力で取り組み、大変満足感のある文化祭となりました。

合唱コンクールでは、どの学年も精一杯の歌声を響かせてくれました。特に二年生の合唱は見事でした。また、雨天で体育館での実施となった体育祭や記念タオルを振り回しながら踊った閉祭式も大変盛り上がりました。

これも保護者の皆様や地域の皆様のお支えのおかげであり、大変感謝しております。



盛り上がった体育祭



素晴らしかった3年生の合唱

〈南中コラムより〉

十月八日

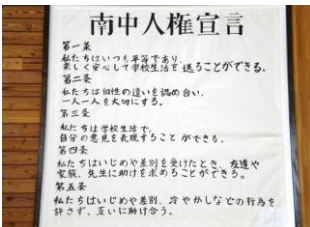
給食を各教室で食べさせてもらっている。それぞれのクラスの人柄というクラス柄があって、おもしろい。今は3年1組にお世話になっているのだが、丁寧な対応にありがたさを感じる。いつもピッタリの時間には行けず、他の生徒が食べ始めてから行くので、席がよくわからない場合が多い。特に昨日と席が変わっている時は尚更である。私が席を探していると、その様子を見て担当の班の人が「先生、ここです」と案内をしてくれる一言に何度となく救われている。たかが一言、されど一言である。

十月十五日

校長講話があった。後期人権週間にかかわるお話をしていたのだが、始まる前に何人かあぐらをかいて座っている人も見受けられた。しかし、係の今井先生が「姿勢を良くしてください」と言っとすと膝を抱えた座の方に直していた。

講話が進んでいくと、若干集中力に欠ける生徒も何名かはいたが、手足のないチアリーダー佐野有美さんの映像の場面では、全ての生徒の視線と気持ちが一気に注がれているのがわかった。南部中には「南中人権宣言」というとても大切なものがある。

もう一度自分を振り返り、悲しい思いをする人がいない学校にしたいものである。



十一月九日

下の写真は先週に撮影したものである。朝、生徒が登校する前に、各学年の下駄箱を何気なく見てみると、1年生から3年生まで全ての人の上履きが、上の段に入っていた。

1学期の始めは、全校で十名弱の生徒が下の段に入れて帰ってしまっていた。夏休み明け、減っていたが、それでも3〜4名は意識が薄く、なかなか全員とまではいかなかった。「上小で一番の昇降口を目標してほしい」という校長先生の願いが少しずつ、浸透しつつあるように思う。ぜひ、忘れずに手を添えて揃えてほしい。

十一月二十日

清掃の時間外に出て、毎日、落ち葉を掃いてくれている生徒のみなさんがいる。けっこつ寒いだろうに作業の手を止めずに黙々と集めて片付けてくれている。



おかげで、駐車場や体育館東側、芝生の中や昇降口前の場所の落ち葉がきれいに無くなっている。大変気持ちよい状況になり、感謝の念でいっぱいである。いずれにしても、私たちの生活の全ては、誰かがこのように汗をかいて、いろんなことをやってくれているから、お互いが気持ちよく過ごせるようになってきているのだ。清掃の間はもちろんなこと他の場面でも、一人一人が「お互いが気持ちよくなる生活」を意識した行動をすれば、南中はもっと良くなるに違いない。



十二月一日

先週、生徒会の立会演説会で選挙があった。各候補者がマイクを使わず演説をしたり、3年生から激励の言葉と期待を含めての質問が出たりと大変よい会になったと思う。

投票をする生徒の皆さんも真剣に聞き、その後の投票もスムーズに行われた。投票前の一瞬やせむわついたものの、選挙管理委員の「剣を回して待つていつたわ」という指示の後からは、ほとんど私語もなく静かに待っていたと思う。



例年と違い会場が柔剣道場に変更になったにもかかわらず、滞りなくできたのは選挙管理委員の細やかな気遣いのおかげである。記入場所の監視をしていた1年生の委員は、一つのクラスが終わると乱れた鉛筆の向きまで直していた。また、他の委員は言葉を発することなく任務が完了するまで手を挙げて、次の委員へ仕事の引継ぎを行っていた。見えないところでこのような努力が、確実に次の生徒会の発展にもつながるであろうと感じた。

十二月十七日

いよいよ来週にコミュニティックフェスティバルが迫ってきている。それぞれの学級で、練習をしていることであらう。1年生の教室や多目的ホールでは、きれいな声が響いてきている。紫苑祭からたった3ヶ月が過ぎただけなのに、別集団が歌っているように聞こえる時がある。

合唱は、心やクラスの開放度のバロメーターとして大事なものである。2学期のまとめとしてふさわしい合唱

にどのクラスもなっていればよいなあとと思う。そして、2・3年生は後輩に、1年生は来年度の新生入生に、感動を与えられるような歌声を発表してくれることを期待してやまない。

お知らせ

『体育館天井改修工事について』

十一月中旬から始まりました体育館天井改修工事ですが、順調に進んでおります。まだしばらくは、ご迷惑をおかけしますが、一月下旬には工事も完了し、体育館の使用ができるかと思われます。今しばらくお待ちください。



『コミュニティースクールコーディネーターについて』

平成29年度の南中部と和田中統合に向けての準備が少しずつ進んでいます。一学年通信15号にも掲載してありましたが、現在コミュニティースクール部会では、その立ち上げについて検討を始めているところです。そこで、お知り合いの方でコーディネーターや支援ボランティア等として学校支援に関わっていただけそうな方がいらっしやいましたら、是非紹介していただければと思います。ご依頼等は部会の方で行いますので、候補者をご紹介ただけで結構です。(連絡は教頭まで)

『不審電話について』

上田市内の複数の小学校で、生徒の個人名を聞き出そうとする不審電話があったそうです。個人情報(生徒氏

名、学級、電話番号等)を聞き出そうとする電話等に絶対対応しないと共に、そのような電話があった場合は、直ちに学校へも連絡をお願いします。

※ 非違行為防止の取組について

昨年度より引き続き、本校では非違行為防止委員会を設置し、信用失墜行為が起らないよう活動しております。具体的には、職員会等の時間を利用して体罰防止や飲酒運転・セクハラの防止に関わる研修を行ったり、標語を作成したりして、常に気を付けるようにしています。保護者の皆様も何かお気付きの点がありましたら、ご連絡いただきますよう、よろしく願います。

なお、体罰防止に関しては、県教育委員会事務局内の「こどもの権利支援センター」(心の支援課、「義務教育課」、「スポーツ課」、「なんでもハロー青少年」(次世代サポート課)が『体罰に関する県の相談窓口』となっておりますので、お知らせします。

十二月十日〜十七日に行われました保護者懇談会には、お忙しい中ご来校いただきありがとうございました。その際に学級担任より様々なお話があったかと存じますが、二十五日に渡されました通知表をご覧いただきながら、生徒たちの努力を認めたり、励ましたりしていただければ幸いです。

それでは2学期、新年もよろしく願います。

(文責 教頭)